

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-4-1 経営革新及び経営基盤の強化への支援
---------	------------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 美濃 亮	電話番号	0852-22-5883
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	中小企業に対する間接融資事務（中小企業制度融資）		
目的	(1) 対象	県内の中小企業	
	(2) 意図	信用力・担保力が弱い中小企業に対して、信用補完制度を活用して低利・長期の資金を提供する	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内中小企業に長期・低利な資金調達を円滑に行ってもらうため、金融機関に対して制度融資原資の一部を無利子で預託する。</li> <li>保証料の負担を軽減するため、保証協会に保証料補給を行い、保証料率を引き下げる。</li> <li>制度融資の実効性を担保するため、信用保証協会に対し、損失補償を行う。</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 制度融資利用実績	目標値		1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	件
		取組目標値						
	式・定義 融資実績（件数）	実績値	815.0	750.0				
		達成率	-	75.0	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	41,065,097	57,866,688
うち一般財源 (千円)	363,995	305,262

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度の融資実績（件数）は750件（対前年度比92%）と前年度に比べて、減少した。</li> <li>各資金メニューの融資実績が総じて減少する中、県内の起業創業を支援する創業者支援資金の融資実績は前年度比210%と高い伸びを示した。</li> <li>平成29年4月～9月の融資実績は対前年比で106.1%と微増傾向。</li> <li>民間金融機関による中小企業向けプロパー融資の貸出金利は低下傾向にある。また、日本銀行によるマイナス金利導入以来、民間金融機関の運用等による収益源が限られてくる中、中小企業向けの融資案件について多少のリスクを負ったプロパー融資推進の動きもある。</li> <li>全体として県内中小企業への貸出残高は横ばい又は微増で推移する中、保証付き融資や県制度融資の実績は減少傾向で推移している。</li> </ul>
---

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>県内民間金融機関の貸出金利の低下傾向を受け、平成29年4月1日より全資金の融資利率を0.1%引き下げた（平成28年度に引き続き、2年連続での融資利率引き下げ）</li> </ul>
---

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、民間金融機関等の貸出金利が低下傾向で推移する中、制度融資の融資利率は引き下げているものの、保証料率については、近年引き下げを行っていないため、保証料の割高感があり、利用企業等から、さらなる保証料率の引き下げに対する要請がある。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保証料率は国による信用補完制度の見直しを経て、全国一律のガイドラインに基づいた、保証料率区分により設定されているため、その区分をベースとした保証料率と大きく異なる引き下げは困難である。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保証料率は、国の全体の信用補完制度の根幹であるため、保証協会と協議・検討が必要。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>他県の保証料引き下げのための制度や引き下げ率などデータの分析を行う。</li> <li>県内企業の状況を規模別、経営状況別に把握している商工団体を中心に企業の金融事情、資金ニーズ等の把握を行う。</li> </ul>
---